

広報用実績のまとめ

H24年度

団体名	倉敷フィギュアスケATINGクラブ	代表者 那須 絵利香	記載者 那須 絵利香
所在地(市区町村名のみ)	岡山県倉敷市児島通生435-2		
活動目的	フィギュアスケートの選手育成及び普及活動		
団体の紹介	<p>1993年に設立したフィギュアスケートの選手を育成するクラブで、佐々木美行氏が監督を務め、幼児から大学生まで約40名が在籍しています。運営は佐々木監督の指導の下、クラブ員の保護者が代表、副代表、会計などの運営に必要な役割を分担しておこなっております。これまで高橋大輔選手をはじめ、多くの選手を全国大会、国際大会へ送り出してきました。クラブではフィギュアスケートの普及活動としてスケート教室を実施し、多くの子供たちに体験してもらい、その中から有望な選手を見出し育成してきました。</p>		
助成を受けての活動内容	<p>選手育成:強化練習 トップコーチを特別コーチとして招聘し、全ての基本となるスケATINGの指導を仰ぎ、さらに各選手のフリープログラムについて技術的なチェックを行い、選手の技術向上を図る強化合宿練習を実施しました。また、この合宿にはクラブ指導員も氷上にて特別コーチの指導方法を学び、指導力の向上を図りました。</p> <p>フィギュアスケート体験教室 クラブ員指導の下、スケート靴の履き方から指導し、リンクへ誘導。その後クラブ選手によるエキシビジョンを見て頂いた後に参加者を年齢別にグループを作り、グループごとに基礎から指導しました。指導にはクラブの選手及び指導員で行い、立つ、転ぶ、歩く、曲がるといったスケートの基本を体験していただきました。スタッフ1名につき5名程度の参加者が指導を仰ぎ安全に配慮して実施しました。実施後にマルセン助成事業による体験教室の様子はクラブのブログにて紹介させて頂きました。</p>		
助成を受けての成果	<p>殆どの参加者がスケート未経験者であり、氷の上を滑るという非日常の運動に楽しい1時間を過ごしました。また、年齢の近いクラブ選手がサポートに入ることにより、スケートをより身近なスポーツに感じてもらいフィギュアスケートへの興味を持って頂くことができ、普及活動として良い成果が残せました。</p>		
今後の活動の課題点	<p>単発の企画ではなく、継続して体験会(スケート教室)を実施していくことが必要であり、フィギュアスケート競技への不安を解消して頂き、楽しさをさらに伝えていくことが今後の課題。</p>		
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)			

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
 写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。